

第26回徳島県老健大会

徳島が育む共生の渦～思いやりが巡る老健の歩み～

2025年10月28日 德島市
で第26回徳島県介護老人保健施設大会が盛大に開催されました。今年の大会テーマは「徳島が育む共生の渦～思いやりが巡る老健の歩み～」でした。県内の介護老人保健施設に関わる職員・医療・福祉関係者・行政担当者などが一堂に会し、介護の現場で培われた知識や課題を共有し合う貴重な機会となりました。開会式では、主催者から「地域とともに歩む老健施設の役割を再確認し、よりよい共生社会の実現を目指したい」との挨拶があり、参加者の表情には真剣な思いがじんでいました。特別講演では、地域包括ケアの第一人者による「共生のためのケア連携と人材育成」に関する講話が行われました。現場での実践に活かせるヒントが多数紹介されました。後半の部では、各施設による実践報告や研究発表が続き、認知症ケアの工夫、リハビリテーションの質向上、家族支援の取り組みなど現場の創意工夫が光る内容が並びました。

「他施設の取り組みを知る」ことで、自分たちの課題が明確になった」「利用者と家族の声をもつと反映させたい」といった前向きな声が聞かれました。大会を通じて、徳島県内の老健施設が地域に根ざし、思いやりと連携を軸にしたケアを実践していることが改めて浮き彫りになりました。共生の渦を広げるため、今後も施設間の連携とともに、介護成の強化が求められる」ことを確認しました。

①介護テクノロジーが創る介護の未来
～見守りシステム導入による
施設の新築移転に伴い、介護テクノロジーの導入を本格化しました。ナースコール機能付き見守りカメラとスマートフォンを活用することで、巡回・移動時間が大幅に短縮され、業務効率と職員の負担軽減を実現。AIによる動作検知や映像確認により、事故対応や家族への説明も正確かつ迅速に行えるようになりました。感染症対応や夜勤時の見守りにも効果を發揮し、安心・安全なケア環境づくりに貢献しています。一方で、プライバシー配慮や通信環境、などの課題もあり、継続的な対応が必要です。今後も進化と挑戦を続け、他施設の参考となる発信を目指します。

②日本一の老健を目指して
～多職種連携で在宅復帰へ～
リハビリセンター「グリーンTAOKA」
Aは、平成26年から超強化型を維持し、在宅復帰支援に力を入れる介護老人保健施設です。入所形態を分類し、短期集中リハビリや医療依存度の高い方への対応を行っています。初回面談での方針共有や多職種による不安対応質の高いリハビリの提供により、在宅復帰率とベッド回転率の向上を目指しています。地域病院や居宅介護支援事業所との連携も強化し、紹介件数の増加に繋げています。さらに、地域交流と介護予防を目的とした「グリーンカフェ」を開催し、施設の魅力を発信しています。“日本一の老健”を目指し、利用者・職員・地域がともに幸せになれる環境づくりに取り組んでいます。

徳島県には紅葉の名所が多くあり、
例えば剣山、眉山、高の瀬峡、祖谷峡
など、様々な紅葉の名所があり、訪れる
人々を楽しませてくれます。例年通
りなり10月下旬から11月中旬に見
頃を迎えるそうです。

青色に白線の具をちりばめたような
高い空、やわらかな陽射しをより一層
暖かく感じる朝夕の冷え込みに、晩秋
の訪れを感じさせる季節になりました。
秋と言えば食欲の秋、そんな季節に
恋しくなるのはおやつレクですが、通
所リハビリでも、ご利用者様がおやつ
レクで「たこ焼き」を作りました。

長い続いた残暑も終わりを告げようやく秋の訪れがやつて来たように思ひます。

入所だより

見劣りするかもしませんが、ご利用者様に季節を感じてもらいたいと思ふ施設内にモミジを飾りせて頂きました。利用者様からも、「秋らしくて良いいですね」「本物のモミジみたい」等のお声を頂きました。これから寒い冬が訪れますから、皆様も病気にならないよう、身体に気を付けてお過ごしください。

さすがの手捌きで、たこの代用品であるはんぺんやちくわをキッチンバサミで細かくカット、ポールに卵を割り、水や小素麺と一緒に混ぜ合わせるとあつという間にタネが完成しました。 その様子に感化されたのか、男性陣も「俺もやろか?」と参加してくださいり、みんなでたこ焼きを作る事になりました。

気がつく感じ利用者様みんなで、和氣あいあいの雰囲気になり、楽しく、美味しく、大盛況のおやつレクとなりました。これからも参加型のみんなで楽しめるレクリエーションを考えていきたいと思います。

今回のテーマは「福祉用具を体験してみよう！」で、株式会社トーカイ様に協力を依頼し、福祉用具専門相談員の眞矢岡太郎氏に説明していただきました。様々な種類の杖や歩行器、置き型の手すりやポータブルトイレ等があり、参加者の皆さまも福祉用具を体験したり、知る事が出来て、「勉強になつた」と喜ばれていました。

朝晩の冷え込みが増し、空氣の乾燥が気になる季節になりましたね。乾燥は肌のかゆみや喉の不快感を引き起こすだけではなく、風邪や感染症にもつながります。こまめな水分補給や手洗い・うがいを行い、室内は加湿器を心がける事が大切です。

また、朝晩の冷え込みが強まり、体調を崩しやすい季節になると、手足の冷えや寒さによる血圧の変動には十分注意が必要になります。

グリーンカフェ

今月は、10月16日
フェを開催しました。

今月は、10月16日にグリーンカ



【施設の予定】

1 2月3日 (水)
通所・散髪会
1 2月4日 (木)
入所・散髪会
1 2月18日 (木)
グリーンカフェ
1 2月22日 (月)
マジックショー



看護だより

この様に、一人ひとりの小さな心がけや、小さな工夫により体をいたわる事が、寒い時期を元気に過ごす為には大切になります。当施設でも換気や環境整備に努め、皆さまが安心して健康的に過ごせるよう支援しています。